

2021年5月2日第1主日

Chofu Christ Church

礼拝式次第

注) 賛美の最後の頌栄以外のアーメンは省く

前奏		
頌栄	新聖歌 60	起立
使徒信条	司会者朗読	起立
主の祈り	司会者朗読	起立
開会祈祷		
賛美	新聖歌 41	
交読	省略	
今月の賛美	省略	
今週の聖句	省略	
5月誕生者祝福		
聖書	Iサムエル14:24-46(p401)	
説教	「独善偏見に満ちた思考」	
	園 謙慈 牧師	
一斉祈祷		
献金	新聖歌385	
感謝祈祷		
頌栄	新聖歌 63	起立
祝祷		起立
後奏		起立

報告

●来週のメッセージ

【聖書】 Iサムエル15:17-26(p404)

【主題】 「悔いる心、従う心」

【説教】 園 謙慈 牧師

【新聖歌】 414 251

今週の聖句

《主の救いは人の多少によらず》
「…多くの人をもって救うのも、
少ない人をもって救うのも、
主にとっては、なんの妨げも
ないからである。」

Iサムエル14章6節

●本日の礼拝後の予定

●今週の予定

◎聖書通読 3日(月)ー9日(日)

IIサムエル17-23章

○祈祷会 6日(木) 休会

●5/9日(日)の予定

○主日祈祷 10:00 賛美タイム ー

○主日礼拝式 11:00

(礼拝録音のための自主礼拝)

礼拝式説教要約 【待てなかった人】

サムエル記上13:1~25

サウル王と兵士たちは、海岸地域から
迫り来るペリシテ軍の脅威にさらされ、
ヨルダン川に近いギルガルまで退避し
ていた。イスラエル兵士はペリシテ軍を
恐れ、次第にサウル王の許から去り始め、
六百人しか残っていなかった。軍の装備
は貧弱で、鉄の武器はサウルや息子ヨナ
タンだけが持ち、兵士の装備は棍棒や
農機具程度であった。

サウル王は、祭司で預言者であるサム
エルを待つべきか、来なければ、王であ
る自分が、生贄を捧げるべきか、と考
えた。サウルは、サムエルが定めた七日間、
待ったが、サムエルはギルガルに
来なかった。それで民は彼から離れて散
って行こうとした。勝利の鍵は主が握
っている。サウルは時間が過ぎるのを
待ったが、主御自身を待ったのではな
かった。

サウルは、①民が離れる、②サム
エルが約束の日に来ない、③ペリシテ
人が集結している、④生贄と祈りを
せず戦えない、と自分の行為の正当
化をした。自分の失敗を謝罪しないで、
言い訳をする人はとても多い。サウル
もその一人だった。自分が選んだのに、
回りの人や環境のせいにした。サム
エルの叱責ポイントは、「主が命じた命
令を守らなかった」こと。待つという
のは人間の営みにとっても大切な行
為である。

(1)主を待つとはどんな意味なのか？

(2)主を待ち望んでいると、何が起
こり得るのか？(3)誰かの中で、何
かが起こるのを待つ必要があるのか？
(4)消極的に何もしないことと、主を
待つことは同じなのか？…私たち人
間は確かに何かを、誰かを待つもの
。でも、本当は、主が私たちを待
っておられるのである。※待つこと
の六徳は⇒①忍耐を養う。②獲得す
る喜びを増やす。③大切なものを見
極められる。④謙虚な気持ちをもた
らす。⑤人を思いやる。⑥生ける
主なる神を信頼していることになる。

◎「もしおそくなくても、それを待
て。それは必ず来る。遅れることはな
い。見よ。心のまっすぐでない者は
心高ぶる。しかし、正しい人はその
信仰によって生きる」(ハバクク2:3
~4)。「待ち望め。主を。雄雄しく
あれ。心を強くせよ。待ち望め。主
を」(詩篇27:14)。私たちは主を
待ち望もう。